

PyCon APAC 2013 第1回 MTG 議事録

日時 : 2012/11/6(火) 19:00 - 21:00

場所 : BeProud会議室

出席 : 寺田、イクバル、保坂、竹内、清水川、畠、たかのり、清田、イアン、小坂、北原、若林

PyCon APAC 2013 第1回 MTG 議事録

2012の残タスクの確認

自己紹介

所信表明(寺田)

副座長、会計担当を決定

会場について

開催時期・日程に関する意見

今後のスケジュール(月単位)

会場、日程確定

PyCon JPの組織作り

担当立候補

Todo

次回までに動いてほしいこと

次回

2012の残タスクの確認

- PyConJP2012 タスク管理
- 28 会計・お金の清算・支払い(会計:イクバル)
 - 今日イクバルと確認する(寺田)
- 35 Arminと弾さんにお礼メール(畠、イアン)
 - Armin分について支払いの話しがある。交通費を会社が出しているため、調整に時間がかかっているようだ。(寺田)
 - IanからArminにプッシュしてもらう。(寺田)
 - 税理士へは仮の金額で出しておく。(イクバル)
 - Invoiceを出してもらうのが大変らしい(イアン)
- 36 Keep Problem Try のアウトプット(全員)
 - とりあえず終了。(清水川)
- 37 PyConJP2012で実施した作業と時期のまとめ(清水川)
 - PyCon APAC 2013 マイルストーン を作成した。(清水川)
 - 後半に密度が上がってくる。あとで決めていることでも、早めに決められるものがあるということもわかった。(清水川)
 - 担当者がかたよっている感じがする。(清水川)
- 38 Photobook作成(小坂)
 - 動けないらしい。やってもいいよ(たかのり)

- 41 仮決算を行う(イクバル)
 - 今週金曜日にして、座長副座長に見てもらう。(イクバル)
 - Todo: CodeZineの入金がある、今週中に振り込んでもらう(保坂)
 - スポンサーの入金を確認する→一応済(イクバル) ¥3,780,000の予定より
¥3,779,685が入金済み。差額が振込手数料
- 42 <http://www.pycon.jp/> を更新する(保坂)
 - Todo: APACやりますという案内を書く(保坂)

自己紹介

- 昨年コアスタッフではなかった竹内さんの自己紹介
- 若林
- 北原

所信表明(寺田)

- APACになる
 - a. PyCon JP から PyCon APACになることで、国際色が強くなることを期待しています。
 - b. 英語トラックの充実 出来れば2トラック。(日本語も継続的に2トラック欲しい)
 - c. 海外からの来場者の増加。特にAPAC地区からの来場者の増加
 - d. お知らせ、案内などの英語でのサポート強化
 - e. PyCon JP 2012の延長線と考えつつ、国際色を多少強くしたイベントがPyCon APAC in JP 2013となるように考えています。その為、引き続き以下のことを継続したいと思います。
 - f. 毎年開催の継続
 - g. 海外で行われているPyConのサブセット的な役割
 - h. 日本に居るPythonユーザが一同に集まれる場所を作りたい。
- 概要是以下のとおり
 - a. 規模 : 400人～500人 (2012と同等又は多少多く)
 - b. 日程 : 2日開催 日取りは、8月後半～10月の 土曜/日曜 + Sprint
 - c. 会場 : 有料会場又は無償提供いただける大学など(500人規模の収容可能な場所)
 - d. 参加費 : 有料とし、会場費次第だが出来れば、2012より倍額程度としたい。(会場費次第)
 - e. 言語 : 日本語セッション、英語のセッションを同程度
 - f. ゲスト : 2012同様に、海外からゲストを呼びたい。出来れば2人。
 - g. 形式 : 4トラックの発表形式
 - h. 懇親会 : 2012同等のパーティを行いたい。出来れば全員参加
 - i. Sprint : 1日間のSprintを開催したい。
 - j. 併設イベント: 2012同等規模又は規模を縮小しても行いたい。新たなイベントが立ち上がって欲しい
- 質問に対する回答
 - a. 「どういったPythonユーザに来て欲しいか」

- i. たくさんPythonを使っていて、Pythonを熟知している人が年に1回集まる場所にしたい
- ii. あらたな人をPython界に呼び込みたい
- b. 「どんなことを持ち帰って欲しいか」
 - i. (また)Python を好きになって帰ってほしい
- c. 「どんな場を提供したいか」
 - i. 人と人とのつながりを大事に
 - ii. 人とつながると楽しいということを知ってほしい
- d. チュートリアルは講師的には半日だと短かったとのこと
 - i. チュートリアルDAYをやる?
 - ii. 誰向け?
 - 1. 初心者向けはチュートリアル
 - 2. それ以上は sprint?
 - 3. 初学者向けセッションと喰い合ってしまうのはなんとかしたい
- e. euroPythonでは女子向けランチとかがあった
 - i. euroPythonではカクテルとかもあったので、そういう細かい場があった
 - ii. PloneConf ではアジア、アフリカのDinnerテーブルを作ったりした
- f. 外国のスタッフは?
 - i. コミュニケーションのコストがかからないのであればリモートでも大歓迎
- g. APACのメーリングリストがほしい
 - i. Todo: シンガポールに確認する(イクバル)

副座長、会計担当を決定

- 副座長: 保坂、
- 会計:
 - 予算作る、お金の移動のチェック、決算(税理士に依頼)
- Todo: スタッフやりたいと手を挙げた人にメールする(清水川)
- Todo: 募集をかける、保坂さんが副座長になったということと合わせて案内する(寺田)

会場について

- 現実的な会場規模と予算幅は?
 - 4トラック+2(併設やハンズオン)同時進行、大部屋は300-500名収容
 - 会場予算例: $(100\text{万}/\text{日} \times 2\text{日}) + (50\text{万} \times 1\text{日}) = 250\text{万}$ (500名×5,000円換算)
- [PyCon JP/APAC 2013 会場候補](#)
- 旅行会社と話をした、9月は時期的に学会とカブっているので場所と時期的になかなか難しいとのこと。8月の方が空いている。
 - 8月は学会をやりたがらないらしい
- 平日だとかなり安くなるらしい。また開催の3ヶ月前に空いているところに入れるのであれば、安くなるらしい。
- 郊外
 - 幕張・八王子・横浜とか

- 幕張だと成田近いかも

開催時期・日程に関する意見

- 8月末から10月上旬くらい。
- 3連休の日、月はどうかという話がある→その場合は土曜日に別会場でSprintとか
 - 9/15,16 もしくは 9/22,23
- 7月の海の日はどうか(竹内)→あり
- 6月だと準備期間的に厳しい(寺田)

今後のスケジュール(月単位)

1. 会場の決定・開催日決定
 - a. 年内には決めたい
2. イベントの概要決定
 - a. 会場と同時くらいに決定したい
3. Webサイト公開
 - a. いつでも大丈夫
 - b. pinaxでやるなら作る必要がある
 - i. CFP(プログラム)、スポンサーがユーザが自分で入れられるようになる
 - c. テンプレートはあるがローカライズは入っていない
 - d. スポンサー、メディアに告知するためにはサイトが必要
 - e. sphinx で立ち上げてしまうのはアリ
 - f. サイトのURLを調整したら公開できる
 - g. 年内に公開したい
 - h. US PyCon (3/13-21)までには概要が公開できるといい
 - i. 行こうかなと思っている(竹内)
4. CFP開始
 - a. 4ヶ月前から一ヶ月間くらい
5. 参加受付
 - a. CFPの募集中に受け付けはじめる感じ
 - b. Early Birdは必要そう(数の確定のために)
6. 開催日

会場、日程確定

- 会場を決めるところまでやりたい(畠)
- Todo: 選定条件の共有と優先順位決めして動き出す。
- 旅行会社(日本旅行)の情報を一応引き継ぐ(寺田)

PyCon JPの組織作り

- 年をまたいだ継続的な組織を作り、将来的には法人化(例えば一般社団法人)を目指して動き出したい

- 規約等が必要
- タスクを割り出している(寺田)
- お金の管理と継続的な運営ができる組織を考えている(寺田)
- 今のうちに決めて作ってしまいたい。
- 地域PyCon開催者の相談にのるとか
- Todo: 規約を整理(たかのり)

担当立候補

- [担当者候補シート](#)

Todo

- Arminに再プッシュする→メールした(イアン)
- Photobook作成する(たかのり)
- CodeZineの入金がある、今週中に振り込んでもらう(保坂)
- <http://www.pycon.jp/> を更新して「APACやります」という案内を書く(保坂)
- APACのメーリングリストが存在するかシンガポールに確認する(イクバル)
- スタッフやりたいと手を挙げた人にメールする(清水川)
- PyCon JP の組織作りに向けて規約を整理する(たかのり)

次回までに動いてほしいこと

- 次回ミーティングまでに動き始めてほしい大きめのタスク(主担当を決める)
 - 会場決める(畠)
 - 会場選定条件の共有と優先順位決めして動き出す。(畠)
 - サイトをたてるのを進める(保坂)
 - タスク管理(Trac)をたてる(清水川)
 - プログラムの概要、テーマ決め(寺田)
 - 座長、会計募集をかける、保坂さんが副座長になったということと合わせて案内する(寺田)
 - 会計、副座長決める(寺田)

次回

- 11月最終週から12月1週目くらいまで
- 11/26～12/6 で調整さんを作成する(保坂)